

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東海)		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の様子を見ると良くなっている。韓国の問題も良くなっていくだろう。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・消費税が2%引上げとなることにより、来客数が増加し売上も同様に前年比20%アップで推移している。飽くまでも消費税増税の影響が大きく、継続的に売上増加が続くわけではないので、下期へ向けた販促を考えて行わなくてはならない。今は3か月前よりは良いが、下期は間違いなく影響が出て悪くなる。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・8月はなかなか売れない月といわれているが、来店や問合せもあり、売上も8月の割に良かった。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・一般的に天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位で、この地域の注目度は4月以降は様変わりである。今月は台風10号の影響で14～15日は勢いがうせたが、それ以外は好調である。
		百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・消費税増税が10月に見込まれているが、前回ほどの駆け込み需要はみられない。9月になったら本格化するかも疑問である。増税を前に節約志向になっているかもしれない。
		スーパー（販売担当）	競争相手の様子	・お盆に、一番近くの競合店が閉店したため、今はよく売れている。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・暑い日が続いたので、冷たいドリンクやアイスクリームを買いにくる客が増えた。店内手作り弁当の販売量も好調だった。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・消費税増税前の駆け込み需要がでているので、高単価な商品がよく売れている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・消費税増税前で新規の来店客が増えている。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・5月に一部主力商品を値上げし、売上は落ち込むかと思ったが、値上げした分売上が上がった。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税対策の客もあり、例年10～11月に実施する社員旅行を前倒しした案件が数件あり、8～9月の取扱いが増えた。
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・8月からのキャンペーンと秋冬向けの新商品の販売により、売上が増加した。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・お盆期間の台風10号による売上激減は別として、低空飛行で変化はない。ここ数か月間の傾向としては、数年前と同様に1000円以上の商品の売行きが完全に鈍化している。
		商店街（代表者）	それ以外	・仕入商品の廃版が多い。取引先によると、メーカーの撤退や部品供給が激減し、職人の廃業等も多くみられる。せっかく購入が決定しても廃版などで商談が破談になることも多く、非常に困る。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・お盆の花の売上、販売量は前年並みであったが、40代くらいまでの若い人たちが先祖を思う気持ちが薄く感じられ、お墓参りを段々としなくなる傾向にある。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・お盆の稼ぎ時に台風の影響を受けたことや天候不順により、客の来店は鈍い状況である。また、インバウンドも外交問題等により売上の伸びが鈍化している。消費税引上げ前の駆け込み需要も盛り上がりを欠いており、本当に消費税が上がるのかと思わせる状況である。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・8月に入り家族連れが増えたが、お盆商戦は盛り上がりには欠けた。中旬以降は消費税増税を見込んだ来店が増え始めたが、前回の増税ほどの反響はない。インバウンドは波があるものの、高額品の稼働率が高い。
		百貨店（計画担当）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要により大幅売上増を予測していたが、まだ余りそのような動きは感じられない。日韓情勢の問題によりインバウンド需要の減退が心配されたが、韓国入国旅行者のシェアが低いいためか、まだ全体ではそこまで影響が出ていない。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・暑さ等の気候変動だけでなく、来店してもらうための魅力的な商品の品ぞろえが良くなかった。
	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・特に変化がない。	

スーパー（経営企画担当）	お客様の様子	・買上点数に変化を感じない。
スーパー（商品管理担当）	販売量の動き	・夏らしい気候で夏物関連商材が順調に売れている。
コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・今年は梅雨明けが遅かったこと、お盆休みが前年に比べ長い人が多かったため、駅ナカのコンビニはその分低調であった。暑さが本格化してからは戻りつつあり、前年並みで推移している。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比2～3%減少したが、単価は上昇傾向にあり、どちらともいえない状況である。
衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・10月に予定されている消費税増税前の駆け込み需要を期待していたが、現状は特段、客の購買に変化はみられない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・消費税増税を前にして新車の販売は少し増加しているが、整備に関しては少し減少しているようだ。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税の駆け込み需要を期待したが、ほぼなかった。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新店舗オープンから1年たち、1周年記念イベントを開催したため目標台数はクリアできたが、8月ということで休みも多く、客の動きもかなり鈍化している。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要は起こりつつあるが、予測していたより遅い動きである。8月自体は1年で一番売上が落ち込む月ではあるが、前年を上回る販売量は明るい材料でもある。ただ、案外という印象が拭えない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・客の関心が以前にも増して軽自動車に向いている。各社の新型車両が出そろったタイミングでもあるが、自動車税等の維持費を気にしている客や、軽自動車でも事故に対する安全対策が、登録車におけるコンパクトカーの対策をりょうがしていると感じる客が増えている。
その他専門店【書籍】（店員）	来客数の動き	・今月はお盆休みもあり、レジャー代に流れてしまい来客数が伸び悩み、売上が減少した。
その他専門店【雑貨】（店員）	お客様の様子	・団塊世代の最終組も70代になり、高齢者の購買にも先細り感がある。
高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明け以降、消費マインドの冷え込みや天候不順もあり客足は鈍い。その一方で、お盆や週末などイベント時は前年を上回っている。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・3か月前に比べて宿泊客は前年比3～5%増加傾向であるが、昼食は横ばい、夕食はやや減少傾向にあるため、景気は変わらない状況が続いている。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・今年分の新規の受注は減っているが、既に受注している分の単価アップ等が図られている。
旅行代理店（経営者）	それ以外	・近隣の高級スーパーが土日にセールを行うようになり、朝から来店客が増えている。周辺部の店に対抗するには、良い物をタイムリーに安くして売るしかないようになり始めている。
旅行代理店（経営者）	単価の動き	・消費税の引上げにもかかわらず、情報が大変少ないので商売しにくい。消費者も8%から10%の引上げなので余り気にしてない様子である。依然として商品の価格競争は避けられないようである。
タクシー運転手	来客数の動き	・夜の繁華街の人出が少ない。飲食店経営者からは暇だという声しか聞かず、週末も人が増えていない。長い間同じような状況が続いている。
タクシー運転手	来客数の動き	・ここ2～3か月、客の数が変わらない。
タクシー運転手	お客様の様子	・8月は暑い日が多く、半ばには台風もありタクシー利用客は多かった。お盆中は繁華街の客が少なかったが、お盆明けはプロ野球、大型イベントやテレビ番組の催物があり、活発に人が動いていた。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約は件数こそ増えているものの、トータルで見ると低価格サービスへの移行が顕著で、1件当たり単価が大幅に下落してきている。
通信会社（サービス担当）	来客数の動き	・新規申込みの分、解約の申込みも多い。

	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・前月に続き、現状維持の状態である。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・商店の規模に見合った顧客対応をするが、設備投資をする意欲がない。
	テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・毎年この時期は閑散期であるが、前年同月比では来客数が微増となっている。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・8月はお盆に台風の影響があり、それ以降も今一つ天候に恵まれず、入場者数は前年同期よりかなり少なくなっている。月末も雨模様が続き期待ができない。
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価の動きが変わらない。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・消費税上げに対して今から準備している客が多く、無駄遣いが少ない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・消費税増税に向けて変化はみられない。
	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	来客数の動き	・営業日数が少なかったが、契約件数は前月並みで客足は増加している。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・毎年8月は需要期になるが、今期に関しては来客数が少なかったため販売量につながらなかった。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・例年お盆期間の休日は売上が増加するが、今年は台風の影響もあり約1割減少している。
	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・貿易摩擦、為替変動による今後の見通しなど、全てに良いニュースはなく、景況感は悪化し、販売に影響する。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・8月は売上が悪かった。法人客、個人客共に調子が下向きである。消費税上げによる買い控えか、企業も慎重になっており、個人は更に慎重になっている。
	一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・夏季長期休暇の影響で受注に伸びがみられない。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・夏休みということもあり家族での来店も多い。平日も男性1人の来店客があるが、買物というよりは涼みにきているようで、腕を組みただ見ているだけの客がほとんどである。夕方以降も会社帰りの来店客は見にきただけの様子で、売上が厳しい状況である。
	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・お盆休みの日並びが良く販売量は増加したが、単価の低い商品が多く選ばれているようだ。
	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・端境期ということもあるが、消費税増税前の駆け込みもみられない。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・台風の影響が大きい。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・近隣スーパーは安売り競争が激しく、大手ディスカウントスーパーが有利となり、その他スーパーの売上が減少している。近隣の喫茶店もモーニングサービスの時間はにぎわっているが、それ以外の時間帯は来客数が減少している。以前にも増して各家庭の節約志向が増している。中国への輸出をみても、我が国を始め各国共に減少しているため、在庫が増え困っているだろう。景気が悪くなっていることも消費者はわかっているため節約志向が増し、景気は更に悪くなっている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・冷夏のせいに来客数は減少している。今後、四季がなくなるのではないのか。
	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・買上点数の減少で、売上が前年比で悪化している。来客数も3か月前に比べると減少している。無駄な消費をしなくなっている様子である。
	コンビニ（企画担当）	それ以外	・身の回りの話題では、隣国とのあつれきや貿易摩擦など不景気な話題が増えている。気分的に良くない。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・弁当やおにぎり等の主力商品の販売数が減少してきている。夏は冷やし麺も売れる時期であるが、以前より売上が減少している。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候に恵まれなかったことが大きく、特にお盆休みの週に台風が来たことが来客数のマイナスにつながった。

コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ 8月に入り猛暑日が続く、夏らしい動きになると思ったが、お盆の台風による影響等で、トップシーズンに飲料やおにぎり等の主要商品が落ち込んだため、長期連休の恩恵を受けることができなかった。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ 天候や気温等の季節要因の回復で、売上は前年比3%改善した。夏の販促企画関連商品の調理パン、調理麺やデザートが伸長して全体を押し上げたが、来客数は前年比でマイナス1%と回復していない。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・ 8月前半は猛暑でアルコールやソフトドリンクを中心に売上は好調であったが、お盆明け以降は雨の日が多くなり、トータルでは前年を少し下回った。
コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・ 8月は販売量が前年比99%と低水準である。8月中旬以降の天候不順と世界経済の先行き不透明感が、来客数と客単価に影響していると実感する。特に天候不順は、小売業にとって大打撃である。
衣料品専門店（販売企画担当）	来客数の動き	・ 来客数が減っている。電話での問合せ、注文も減っている。
家電量販店（フランチャイズ経営者）	来客数の動き	・ 8月前半は天候の回復もありエアコン等の夏物が売れたが、例年に比べ来客数が少ない。消費税増税を前に儉約志向が強まっているのかもしれない。来店客は大物を買う客が多いので客単価は伸びているが、増税後の不安から、買わない選択をする消費者も多い。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・ 8月は猛暑続きで、台風や大雨なども続くなど来客数が減った。客の動きも鈍い。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・ 異常に暑かった夏があり、台風や大雨等の水害、韓国との経済問題等、世間では一般市民が不安に感じることが多い。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・ 夏季休暇もあり稼働日数の少ない8月は、例年販売も芳しくないが、前年比でも落ちてきている。消費税引上げに対しての客の反応も鈍い。
その他小売【ショッピングセンター】（経理担当）	販売量の動き	・ 売上は前年比で8.3%マイナス、来客数は前年比6.0%のマイナスで、2つの数字が両方ともマイナス5%を超過するのは初めてである。今月の前年比の数字は、最近にはない落ち込みである。
一般レストラン（経営者）	それ以外	・ 仕入原価が上昇している。
その他飲食【仕出し】（経営者）	単価の動き	・ 世界的な株安、米中、日韓関係など不安定要因が多々あり、マイナスの雰囲気と流れが段々と具体的に現れ始めている気がする。
その他飲食【ワイン輸入】（経営企画担当）	お客様の様子	・ 消費税の増税に対する消費者の関心が高くなってきた。増税前に買い増しするわけでもないが、増税後は購入を控えるといった話が増えてきた。米中、日韓の情勢についても関心を高く寄せている人が意外に多く、漠然とした不安から消費を控える行動が現れている。
観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・ 前年8月は、その前月に風水害の多大な影響を受けた反動で、宿泊人数もすこぶる伸びたが、今年は一昨年をも下回るほど集客できていない。合わせて食堂部門もお盆期間の来客がつかないほどの落ち込みで大幅な減収となっている。理由は台風の影響もあったが、ゴールデンウィークの反動や10月の消費税増税を見据えての外出控えといわれるが、本当のところは定かではない。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・ 予約のリードタイムが短くなった。
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ 製造業を中心に需要が減ってきている。今後も悪化してくるだろう。
旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・ 10月からの消費税増税を見据えて生活必需品や加工食品類の値上げが続いており、財布のひもが固くなってきている。旅行や観光などの余暇に充てる金を貯蓄に回しているようで、旅行申込みの来客数も減っている。
テーマパーク（職員）	お客様の様子	・ 気候の変動や政治情勢から、やや悪くなっている。
観光名所（案内係）	お客様の様子	・ 富士山の登山者数が減少している。天候不順の影響もあるが、日本人ツアー客の数が減少している。

	理美容室（経営者）	お客様の様子	・今月はお盆があり忙しいはずの時期であるが、来店客が少なかった。
	美容室（経営者）	それ以外	・客の高齢化もあり、余り変化がない。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・10月の消費税上げは、客への精神的なダメージがある。
	住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・一部の建築会社は好調かもしれないが、地元で中堅といわれていた会社が倒産し、前期はぎりぎり赤字を免れたとの声を多く聞いた。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	それ以外	・消費税上げ前で仕事は増えており、人員を増やして対処しているため、人件費がかさみ利益が残らない。9月後期を過ぎると10月からが心配である。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・節約志向が強い。
×	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・7～8月と、天候不順により非常に景気が悪い。
×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・お盆明けは飲食店の来客数が減少している。例年に比べ、客がゼロの店やゼロに近い店が多くなっており、非常に来客数が悪くなっている。
×	スーパー（店員）	販売量の動き	・お盆商戦は天候不順のためか、とにかく品物が入らなかった。ぶどうはたった2種類しか入荷がない状態で、お供え用の包装も少なく、不景気を実感した。
×	スーパー（ブロック長）	競争相手の様子	・競合先のチラシによる販促が強化されていると強く感じる。チラシサイズの拡大、価格の強化、ポイント販促の強化、クーポン券の掲載など、集客のためのあらゆる策を講じている。
×	スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・3か月前は売上が前年比100%で推移していたが、8月は前年92%と非常に厳しい数字であった。特に夏物の売行きが悪く、数値を大きく落としている。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・猛暑で外出を控えているのか、極端に来客数が少なかった。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・5月の連休同様、連休が続くと街が静かになり、なかなか消費につながらない。
×	理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず安い店に客が流れる。
×	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・取引先減少の影響が続いている。
×	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・お盆休みが山の日などで長くなったことや、猛暑による外出控えのためか、来場者数が減少している。今後の動向が心配である。
企業動向関連	-	-	-
(東海)	金融業（従業員）	取引先の様子	・特に建築業においては東京オリンピックに向けて予約注文が多く、作業が追い付かない状況になっており、比較的景気は良い。
	不動産業（経営者）	それ以外	・例年同様に晴天が多いこともあり好調に推移し、売上は前年同期を上回っている。駐輪場は低額で利用できることもあり、必要な出費を惜しむほど景気は悪くない。
	化学工業（総務秘書）	それ以外	・米中の関税報復合戦や円高で景気には悪い影響があるが、まだ症状としては現れていない。
	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・各社からの受注量が平均的な量で安定している。新規引き合いも平均的な件数であり、成約率は高めである。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が全体で減少している。販売価格についても競争が厳しくなっており、値下げをするケースが多くなっている。
	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・引き続き対応しきれないほどの引き合いがあり、忙しい状況が続いている。関東の案件が目立つが、全般的に多いと思う。
	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米の自動車向け設備の計画は次々と凍結されている。一旦中止になった計画が再開されるという情報もないままで、引き合いは低調である。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客先の業界が相変わらず悪い。様々な規制の関係等を含め、消費税上げ前の駆け込み需要も少なく、良くない状態である。

電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・暑さが長引き季節商材の動きが良いが、前月までの梅雨の影響も大きかったため、全体的にはほぼ同じである。
電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・インターネット関連の大容量通信の要望は高く、インフラ設備の高度化のための投資が続いている。
輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・特に良くなる材料も、悪くなる材料もなかった。
建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・10月からの消費税引上げに伴う動きで、もう少し駆け込みの仕事があるかと思っただ、余り感じられなかった。
通信業（法人営業担当）	それ以外	・夏休みで、レジャー施設や大型スーパーでは家族連れを見掛けることが多い1か月だったが、数年前まで日本人しかいなかった高級ホテルは、日本人よりも外国人が多い様子で、ここ数年の我が国の景気低迷と、海外との景気格差を感じた。
金融業（企画担当）	取引先の様子	・やや円高で株価も上がらないことから含み益が増えず、様子見の個人投資家が多い。個人投資家以外の個人は、給与が上がっている実感がない。いずれも消費に向かいづらい状況である。
行政書士	受注量や販売量の動き	・荷動きが変わらない。
公認会計士	それ以外	・輸出型の大企業の業績は良いように見えるが、下請等の中堅・中小企業の業績は非常に厳しい。中堅・中小企業では、コスト高、人材不足、働き方改革による労働時間の減少等により、収益性が著しく低下している。
その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・下期に向けて製造工程が佳境になるにつれて、要員の調達が生発である。
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・前月に引き続き余り良くない。設備投資に関しても前月と同様抑え気味である。時間を掛けた新製品が基本的には完成したため、心理的には非常に安心している。
食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・7月下旬までの長梅雨や冷夏の影響で、夏物商材が苦戦した。加えて継続的な原材料価格の高騰が収益を圧迫し、厳しい状況が続いている。
食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が例年以下の状況である。
パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・夏休み、天候不順や台風等の影響により、受注量、販売量共に大きく減少し、3か月前と比較するとやや悪い。
鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、受注額共に前年比5%ほど落ち込んでいる。
電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・稼働日数も影響しているかもしれないが、工作機械、自動車関係に関して、数量が以前に比べ2割弱減少している。
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・中国向け輸出が伸びていないと完成車メーカーから聞いている。
輸送業（経営者）	取引先の様子	・国内消費財の物流に大きな変化はないが、中国を中心に東アジアへの工業品輸出が減少している。
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物量が減っている。
輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・今年はお盆休みが長く営業日数が少なかったことも影響しているが、輸送物量が前年同月を大きく下回っている。消費税の引上げも迫ってきているが、これまで2回の引上げ前のような、駆け込み需要が寄与して全体の輸送増となる現象はうかがえず、消費自体の低迷が著しい。
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・6～8月の毎日の取扱荷物が前年比で減少している。日別でみると多少の変化はあるが、月別でみると減少しており、景気の下降感が徐々にみられる。
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・特に、鉄関係の荷動きが鈍くなっている。

	通信業（法人営業担当）	それ以外	・消費税増税前の駆け込み需要は感じられない。知人の飲食店では、来客数に変わりはないが、注文の中身に変化がある。単価の高いおいしいメニューより、安価な食べ放題コースが増え、売上は減少している。庶民の感覚は鋭いものがある。
	通信業（総務担当）	それ以外	・不安な事象が多すぎることで、景況感、人々の元気や活力を奪っている。韓国との経済、軍事交渉や米国との貿易交渉の先行きが不安である。消費税増税も決まり事というものの、10月の開始を前に購買力は落ちている。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税に伴う駆け込み需要はみられない。慎重な様子が見られる。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・客主催の夏のイベントは、雨や猛暑続きもあり、客足が伸びず売上も悪かった。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込チラシの受注量が少ない。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・景気の影響は、大企業から中小零細企業に到達するまでに時間差がある。客先の零細企業が好調になっているが、一部上場企業の完全子会社は減速し始めたと聞いた。下向きに向かい始めている。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・消費税増税前の駆け込み需要がみられない。製造業においても米中貿易摩擦の影響で受注が安定せず、深まる対抗措置に回復への期待感は薄れつつある。
	×	*	*
雇用 関連  (東海)	-	-	-
	人材派遣業（営業担当）	求人数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要から物価が上昇し、消費が増加している。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・悪天候の影響が少なく、夏季のイベントの利用が好調だった。
	人材派遣会社（企画統括）	求人数の動き	・求人数は前年同期比でほぼ同じ水準となっている。
	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・貿易摩擦等で株価が安定しない。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・求人広告会社の状況として、ネット、紹介業が両方共悪く、印刷媒体に回帰しているようにもみえる。
	職業安定所（所長）	求職者数の動き	・新規求職者数は前年同月比で1割ほど減少している。
	職業安定所（次長）	求人数の動き	・新規求人数は前年同期と同水準であり、有効求人倍率も高水準で引き続き推移している。中小企業では特に人手不足感が強い。
	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・景況感をみた上で、面接では候補者を吟味して採用する企業が増加傾向にあり、面接通過率に影響が出ている。
	民間職業紹介機関（支社長）	採用者数の動き	・当地域においては、大手メーカーの採用意欲はやや下がったままの印象が続いている。具体的には面接通過率が下がっている。求職者数自体は減少していない。
	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・自動車関連企業を中心に予算緊縮の動きが顕著となってきている。
	人材派遣会社（社員）	それ以外	・同一労働同一賃金の施行を控え、企業が派遣活用を控えている。
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・主要取引先の自動車メーカーから、金額が変わらない継続案件の見積りに対しても、細かな見積根拠を求められる等、経費の精査がより厳しくなっており、景気はやや悪くなっている。
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数、契約開始数・終了数の全てにおいて、前年を下回っている。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	採用者数の動き	・当地区の主要自動車メーカー及び、その二次、三次下請メーカーの求人募集がストップしている。ただし、一時的なものとする。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・求人数を減らす、若しくは求人を出さない企業が増えている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比で12か月連続して減少している。

	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・前月に引き続き、事業所閉鎖、業務縮小による解雇が管内事業所で6社あり、必ずしも景気が回復傾向にあるとはいえない。
	職業安定所（次長）	求人数の動き	・企業からの求人1件当たりの求人数が減少傾向にある。
	職業安定所（次長）	求人数の動き	・製造業を中心に求人の動きが鈍くなっており、前年同期比で減少傾向が続いている。
x	-	-	-